

岡崎地区における交通課題に関する協議状況について

○協議実施の背景

平塚市北西部に位置する岡崎地区は、地区内の南部及び西部に交通空白不便地域を抱えるほか、丘陵地(ふじみ野・みどりが丘周辺)では、地形の特性上、歩行・自転車移動が困難になっています。

さらに、令和7年1月1日時点で、市内を14に分けた人口統計の地区の中で最も高齢化率が高く、約35.4%となっています。本市の高齢化率は2050年ごろまで上昇し、その後横ばいが続く見込まれています。

前述の課題を受け、平塚市と岡崎地区自治会連絡協議会をはじめとする地域団体が構成された「岡崎地区地域活動推進会議」(検討部会:岡崎地区コミュニティ交通企画委員会)では、交通課題解決に向けて、令和5年12月から令和8年1月までの間に、24回の協議を行っています。

○協議の状況

令和6年11月～12月に実施した岡崎地区在住の中学生以上を対象にした交通課題に関するアンケートからは、交通における一番の困りごとが日常の買い物のための移動であることが分かりました。このため、課題を解決するためのコミュニティタクシー導入に向け協議することになりました。

さらに、令和7年8月に需要を把握するために2回目のアンケート(資料7)を実施し、運行事業者からの見積り等を参考に、基本的な運行ルート及びダイヤ、運賃、愛称等に関する検討や地元運営協議会の設立に向けた検討を進め、令和8年度中の実証実験開始を目指しています。

なお、本取組みは令和3年5月に策定した、「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き」に基づき進めています。

<参考>

■立地適正化計画における岡崎地区の位置づけ

- ・市内に7か所設定した「日常生活拠点」の一つ。
- ・目指す将来の姿 高低差のある住宅地の移動や買い物利便性を支える拠点

■2回のアンケート調査(R6.11、R7.8)⇒一定規模の商業施設への移動手段を検討

- ・日常の移動に困っている人は34%
- ・外出する目的は通院よりも買い物・会合・趣味が多く、行先で最も多いのは商業施設

○基本的な考え方

- ・タクシー車両を使用し、路線バスとタクシーの特性を組み合わせた運行計画を検討しています。
- ・週1回程度、岡崎地区～岡崎地区外の大型商業施設(候補地:ヨークタウン北金目)で2ルート、岡崎

地区内の商業・公共施設等の循環ルートで1ルートを運行することを目標としています。

・決められた時間に、岡崎地区内に複数設定した乗車ポイントに集合することで、乗合効率を高める計画です。また、事前予約制で運行することで、予約のない乗車場所や運行経路は省略します。

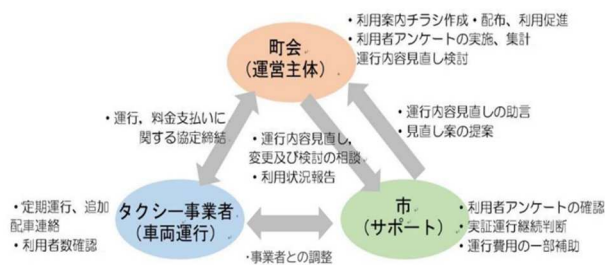
・岡崎地区外の大型商業施設からの帰りは、決められた時刻に集合し、乗合効率を高めるほか、利用者の自宅近くまで運行することで、高齢の方でも買い物がしやすい環境とします。

・岡崎地区内を循環するルートを設定することで、高低差のある地区内において、各施設の利便性向上と路線バスの補完を図ります。

<先行事例>

【とねっこタクシー】(千葉県柏市利根町会)

自治会(運営主体)とタクシー会社で契約を結び、決められた時間にごみ集積所等の集合場所から乗車し、商業施設へ向かう。帰りは自宅近くまで送り届ける。



千葉県柏市ウェブサイト

「令和6年度第2回柏市交通政策審議会地域公共交通部会」資料から抜粋

○第2回目の住民アンケート結果の概要

基本的な運行イメージを示した上で、需要、希望する行き先、地区内の乗車場所等について調査。

詳細は、資料7 岡崎地区における交通課題に関するアンケート調査(その2 需要調査)集計結果等報告のとおり。

○現在の状況と今後の取り組み方針

- (1)地元運営協議会の発足に向けた、規約制定等の組織づくりを市と岡崎地区で進めています。
- (2)現在検討中のルート案等をもとに、具体的な運行方法について、運行事業者と協議を進めており、道路運送法第21条による実証実験の申請等、必要な手続きを進めます。
- (3)実証実験開始後も引き続き、市、地元運営協議が一緒に、地域に最適なコミュニティ交通となるよう検証及び改善を行い、本格運行を目指していきます。

以上